

(仮称) 富谷市民図書館整備におけるサウンディング型市場調査 結果概要

1. 調査名称

(仮称) 富谷市民図書館整備におけるサウンディング型市場調査

2. 調査の目的

富谷市では、平成 29 年 3 月に「(仮称) 新富谷市民図書館整備基本構想」を策定し、平成 30 年 11 月に「(仮称)富谷市民図書館整備基本計画」(案)を策定致しました。これらの構想、計画に基づき、富谷市では、センター館の新築と 5 分館をリノベーションして整備活用し、センター館と分館が一体となった、ネットワーク型モデルという新しい形の図書館の整備に取り組んでいます。このモデルの可能性を最大限に広げられるよう、民間事業者のみならず幅広くご意見を求め、継続的な「対話」を通して、市場性の把握や実現性の確認、民間事業者の意向を把握することを目的としています。

3. 調査の経過

日 程	内 容
平成 31 年 1 月 9 日 (水)	本調査の実施要領公表
平成 31 年 1 月 9 日 (水) ～平成 31 年 1 月 21 日 (月)	質問の受付
平成 31 年 1 月 22 日 (火)	質問の回答、公表
平成 31 年 1 月 9 日 (水) ～平成 31 年 1 月 28 日 (月)	サウンディング参加申込み、提案書の提出
平成 31 年 2 月 1 日 (金)	対話実施時間の連絡
平成 31 年 2 月 4 日 (月)	対話の実施
平成 31 年 2 月 5 日 (火) ～平成 31 年 2 月 28 日 (木)	追加対話の実施

4. 参加事業者数

5 事業者

5. 対話概要

【理念・指針・整備方針に基づくネットワーク型モデルにおけるセンター館及び分館の整備手法】

- ・図書館全体の機能やハード面については、センター館中心に整備することも選択肢のひとつ。
- ・センター館を主動とした本及び企画展等の巡回の下、センター館と分館の連携に取組み、ソフト面の充実を図る。

【予算内での整備の実施】

- ・分館のリノベーションの手法は、工夫次第・可能性は大きいと考える。
- ・デザインビルド方式を取り入れることによって費用の削減が見込めるが、市民協働の視点からは、メリット・デメリットを考慮する必要がある。

【市民間交流を生み出す環境づくり】

- ・目的に応じて利用する分館を選べるようにすることで、市民間交流を生み出すことが可能と考える。
- ・図書館への愛着を育めるような取組みを通し、市民間交流を生み出すことが可能と考える。

6. 本調査のまとめと今後の方向性について

富谷市の目指すセンター館と分館が一体となった、ネットワーク型モデルという新しい図書館の整備について、本市の目指す方向性に対し、前向きに受け止めていただいております。それぞれの企業から特色ある提案や、分館のリノベーションについても、多くのアイデアが提示されました。引き続き対話を通じて市場性の把握や実現性の確認、民間事業者の意向の把握に努めて参ります。